

幼稚園・保育園のわらい

状況に応じて自分にできることはどんなことかを考え、やってみる

カリキュラムNo.40…考える子ども…

クラスのみなどと一緒に先生や友だちの話の聞いたり、自分の経験したことや考えたことを話したりする

カリキュラムNo.44…考える子ども…

小学校のわらい

自己紹介ができる カリキュラムNo.50…考える子ども…
自分の意思をはっきりと先生や友だちに伝えることができる

カリキュラムNo.56…考える子ども…

学習や生活のルールを理解して友だちと一緒に学んだり遊んだりすることができる カリキュラムNo.58…考える子ども…
先生や友だちの話最後まで静かに聞くことができる

カリキュラムNo.59…考える子ども…

「どうする?」「よし!一緒に考えよう!やってみよう!」 6・9・2月


～互いの力を引き出す指導～

花巻幼稚園・花巻小学校

☆ **交流の流れ** ☆

- ・幼小互いの教育課程を考慮し、年間計画に年3回（6月・9月・2月）の交流会を組み入れる。
- ・年3回の交流会に向けて、互いの子どものよさが引き出されるようなペアを話し合う。
- ・交流会では継続的にペアの様子を見守り、「一緒に考え、互いに相手の話を聞いたり、自分の思いや考えを話したりしたくなる状況づくり」を工夫する。交流後のそれぞれの成長の姿を伝え合う。

☆ **交流の経過と交流後の事後指導** ☆

活動の流れ	園児の姿 (○) 環境や援助 (◎)	児童の姿 (○) 指導者の支援 (◎)
6月1日 幼小交流 第1回なかよし集会 ・ペアの友だちとの『出会い』 ・ペアで『なかよし学校探検』 	「なかよし学校探検」抜粋 ◎ペアで自己紹介し、ふれあい遊びの時間を設定する。 ◎ペアで学校の3ヶ所「教室・体育館・図書館」のどこに行きたいか話し合おうとする姿や自分たちでかかわろうとする姿を見守り、支える。 ○園児の知っているふれあい遊び「なべなべ底抜け」は、緊張気味の子も自然に声を発して楽しむ姿があり、ペアの友だちに親しみをもつきっかけとなった。 ○ペアの友だちの話をよく聞いて答えたり、真似て動いたりして楽しむ姿が見られた。	○ペアの友だちの表情を伺いながら「体育館ってここだよ。走れるし、ボールでも遊べるよ。」「図書館は本がいっぱいあるんだよ。」など、相手にわかるように説明していた。 ○「どこに行ってみたい?」と園児の顔を見て、話を最後まで聞いて進めようとする姿がほとんどであった。
<<1年生>> 6月 なかよし集会事後指導 「なかよし集会のふりかえり」 ◎[評価の観点] ペアの子に自分の考えを伝えたり、相手の話を聞いたりすることが出来たか	設問 1 どこにいきましたか 2 なにをしてあそびましたか（どんなことをしましたか） 3 どんなことをはなしましたか	主な回答 1 それぞれ 2 ほんをよんだ。おえかきをした。さんすうセットであそんだ。ボールあそび。ランドセルをみせた。 3 あんまりはなしてない（8人）ちょっとおはなしできました（1人）たのしかったねってのはなしたよ（3人）
○字が書けない子がいるので、全員は回答していない。		

9月8日

幼小交流

第2回なかよし集会

- ・ペアの友だちと同じチームになって『なかよしドッジボール』



- ◎ペアの友だちと力を合わせて遊ぶ『円形ドッジボール』を提案する。
 - ・内野は、ペアの友だちと一緒に逃げる。
 - ・外野は、「1年生はボールを受ける」「園児はボールを転がす」
- ◎1クラス3チームの総当り戦とし、ゲームの合間に作戦会議（相談…分からないことや困っていることを話す）をする。

○ペアの友だちの説明を真剣に聞き、その友だちを頼りに自分なりに動こうとしていた。ペアの友だちに声をかけられると嬉しくなり、自らも声を出し、手を伸ばしてボールをもらったり、ペアの友だちの後ろに隠れたりなど、自ら動いて楽しもうとする姿が見られた。

○ペアの友だちがわかるように言葉を選び、動きを交えながら説明し、積極的にかかわる姿が見られた。
○「思い切って投げたー！」「すぐ投げないと敵のボールになるよ。」「背中向けないでこやって逃げて！」などと相手に自然に声をかけ、手を取り合って喜んだり悔しがったりと、歓声を上げて楽しんでいた。

《1年生》 9月

なかよし集会事後指導

「なかよし集会のふりかえり」

◎[評価の観点]

ペアの子に自分の考えを伝えたり、相手の話を聞いたりすることが出来たか



設問

- 1 なべなべそこぬけのとき、どんなことをはなしましたか
- 2 ころがしドッジボールのとき、どんなさくせんをたてましたか
- 3 さくせんは、うまくいきましたか
- 4 トイレタイムに、どんなことをはなしましたか
- 5 あなたのペアのおともだちのなまえをかきましょう

主な回答

- 1 わかる？がんばろうね。ここにはいって！たのしかったね。うまくいったね。
- 2 あたらないようににげる！ジャンプする。ボールにさわっちゃダメ。すぐなげる。
- 3 「うまくいきました。」6人以外
- 4 お水のむ？トイレいきたい？一人でできる？ドッジボールたのしかったね。
- 5 全員記入

◎『5つの設問に答え終わって時間があったら、ペアの友だちにお手紙を書いていいですよ。』というコーナーを設定する。

- 「とっっても可愛かった。」「今度は鬼ごっこしようね。」「かくれんぼもしたいね。」「ドッジボール楽しかったね。また一緒にしたいね。」「3回目の最後の集会は何をしたい？」「また一緒に遊ぼうね。」「小学校は楽しいよ。」等と、それぞれの思いを書いていた。余白がないほどびっしりと書く子や用紙の裏にまで書く子もいた。1回目の振り返りではあまり話していない子が多いが、夏にプールで声を掛け合った手を振ったりした後の2回目の交流となると打ち解けて話していることが分かる。

☆ 考 察 ☆

《子ども同士の交流による学び》

- 園児は、学習や生活の様子を見たり聞いたりしながら小学生への憧れをもつことができた。
- 小学生は、園児に寄り添って優しくしたり、分かりやすく伝えたりすることによって、自分に自信をもち、教える喜びを味わい、自分たちの成長を実感することができた。
- 遊びやゲームの仕方をいろいろと考えたり、話し合ったりすることで楽しさを味わい、より親しみが増していった。

《教師同士の連携による学び》

- 打合せ会で、子どもたちの考えようとする意欲や態度を引き出す指導の工夫を具体的に出し合い、指導計画を練ることができ、そのことがポイントを意識した実践につながった。
- 事後反省会においても、交流会やその後の子どもたちの成長の姿を出し合い、「どのような指導の工夫が有効だったのか、改善点はどこか」等、評価の観点をベースに次に生かす意見交換がなされた。特に、1年生の児童一人一人の振り返りが考える意欲を引き出していることがわかった。「勝つための作戦を練ったこと」「相手の思いを知ろうとしたこと」そのことによって改めて、楽しかったと思えるような事後指導はたいへん有効であった。
- 教師間の協議の積み重ねが、互いの教育や子どもの成長する過程を学び合い、体験のつながりを意識した指導の工夫につながっている。